

報告課題③ 第1回テストに向けて (復習プリント)

●表面

一、誤字に注意 「ガツシヨウ」・・・合唱・合従とならないように注意しましょう。

誤読に注意

「日和」・・・「遠足日和」「散歩日和」などと上に熟語が付くと「ひより」と濁るが、ここは付いていないので清音で読む。：レポートの語句以外で自分で教科書を音読し、読み書きが怪しい語句については練習しておく。(裏面の最後に掲載の漢字も練習しておく)

二、「問わず語り」は七、で出題されている。どんな気持ちになると「問わず語り」をしてしまうか、女主人のもてなしを受けた母の気持ちになつて考えてみる。

類語・独り言・打ち明ける・心中を明かす・吐露する・独白する

三、四、五、六、七、八・・・それぞれの問題文の文末に注意し、答え方に工夫をする。

三・・・「どのようなこと」がわかるか。」 四・・・「どんな性格だと思われるか。」

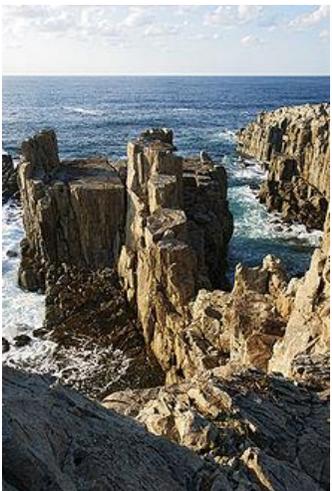
五・六・七・八・・・「なぜか。」と聞かれているので、「さだから。」と答える。特に七、は「女主人のもてなしを受けたことについて触れて」書くという条件も加わっているので、小説の中の母の心情を読み取ること。母の思いを「打ち明ける」きっかけは何だと思ふか、その場面設定も重要!

※物語の舞台の寺院は「永平寺」(曹洞宗)

・曹洞宗の僧侶の入門はほとんどが大学卒というのが現状である。「とんかつ」の主人公の少年は家庭事情があり、異例だったことがうかがえる。

五、「あやうく、東尋坊・・・」について

※東尋坊：もともとは東尋「坊」というお坊さんの名前。乱暴であったため、仲間の僧侶に崖から突き落とされて殺された、ということが由来となっている。(諸説あり)(写真上・三段岩、下・永平寺)



・「僧侶の肉食」について

教科書 P 32 L 7 「寺育ちのくせに」

教科書 P 33 L 14 「修行中の身ですからなあ。」

○仏教では一般的に、不殺生戒(生き物をむやみに殺してはいけない決まり)が第一に挙げられているが、すべての生き物は他の生き物の命を殺して、それを食べていけなさと生きていけないものである。いわば破られるための戒律が第一番目に挙げられていることになる。人間はそのことに気づき、生かされていることに謙虚に感謝する、というのが修行の始まりと言える。なお、他の人から肉食を勧められた場合には、「頑なに拒否する」ことも物事に執着があると見なされ、修行の妨げになるため、謹んで「いただきます」と言われている。

・肉食に関する言い換え

馬肉：サクラ。肉の色から来たという説と、馬肉の匂が春(桜の季節)という説がある。

猪肉：ボタン。肉の色から来たという説がある。

鹿肉：モミジ。「奥山にもみじ踏みわけ鳴く鹿の声聞く時ぞ秋はかなしき」猿丸太夫(百人一首では五番目)『古今集』

秋上・二二五 という和歌から来たという説がある。

鶏肉：カシワ。色づいた柏の葉っぱの色から。

うさぎの数え方：一羽(獣を食べているわけではない。鳥であるという言い訳か?)

※「牛肉」「豚肉」には植物に言い換える言葉がない。↓ 江戸時代にはあまり食べていない肉だったから。

江戸時代には「生類憐れみの令」が徳川綱吉の時代に出され、「肉を食べることを、植物に言い換えて隠していた」が、「牛肉」「豚肉」は明治時代になってから普及した食べ物なので、隠して言い換える必要がなかった。

●裏面

九、空欄補充の問題ですが、教科書や学習書の表記そのままを抜き出せるとは限らない。特に、母の皿の方が、食べ盛りの中学生の皿より早くなくなってきているのはなぜかを考えないと、三番目の空欄はうまく埋まらない。

十一・・・「わかったこと」と「任せてほしいこと」の二つに分けて書くことに注意。学習書P24⑳の↓の「気持ちをくみ取り」が「わかったこと」、「引き受ける」が「任せてほしいこと」にあたる。旅館として、女主人が、お客が何をしてほしいとわかり、どんなサービスを任せてほしいと考えているかを書く。
(女主人を主語として書くことよい。(例)女主人は、母が〇〇してほしいと分かった。女主人は、〇〇することを任せてほしいと思っている、など)

十二・・・「どのような気持ちを込めて」答え方に注意。

作者…三浦哲郎について 教科書P34にある『忍ぶ川』で昭和四十四年の芥川賞を受賞している。また、『盆土産』という小説が中学二年の国語教科書に掲載されており、読んだ経験のある人もいるであろう。

手技に学ぶ

一、 対義語は、常識として知っておいてほしいものから、大学入試で問われるような難解なものも含む。「対義語辞典」といったたぐいの書物もあるので、読んでみてはどうか。「創造」の対義語は、「マネをする」という意味の語句でも、「こわす」という意味の語句でも構わない。学習書に模範解答がないので自分で調べよう。

二、 「のこぎりが、自分の重さで、自ら動いている」について。

P154 L15 「人間の不安定な意識」があると駄目なのだから、では人間がどうすれば、のこぎりが自分で動くのか考えること。

六、現代的な課題については、自分なりの意見を持つておいた方が、大学入試などのときに役立つ。「環境」「少子高齢化」「消費税」「地震対策」など「どんな社会かを説明しなさい」という問いは新聞やインターネットで情報を仕入れておくとよい。

○この「手技に学ぶ」では漢字の書き取り問題や、言葉の意味を問う問題が、紙面の都合上、多く作れなかった。以下の漢字は教科書の中に出てくる、覚えておいてほしい漢字群である。書けない人は何度も書き取りすること。

※**研ぐ** **営む** **習練** **滑らか** **不精** **平滑** **丁寧** **機** **伐採** **悠久** **基盤** **癖**

○「とんかつ」のレポート以外の漢字の読み書きについては、左のものも自分で学習しておく。

遠来 **和装** **膨らむ** **襟元** **防寒** **豪勢** **陰気** **冗談** **支度** **納得** **極める** **他人事** **芯** **住職**
檀家 **凍てつく** **跡継ぎ** **急場** **悠長** **帰郷** **即座**